

NIKKAWA

膠2021 オンライン公開研究会

# 膠 絵画の これから

主催：東京藝術大学 日本画研究室、保存修復日本画研究室

共催：膠文化研究会

日時：2021年11月27日(土) 13:30~16:25

会場：オンラインによる配信 (Zoomウェビナー)

定員：なし

参加費：無料(事前登録制)

参加申込み：事前登録制

登録URL

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_PLsLYkvwRAyutmXAc8eBvw](https://zoom.us/webinar/register/WN_PLsLYkvwRAyutmXAc8eBvw)



Zoomウェビナーにてオンラインで配信いたします。

登録URLまたはQRコードよりお申込みください。

事前登録が必要になりますのでご注意ください。

登録頂いたメールアドレスに参加URLが送付されます。

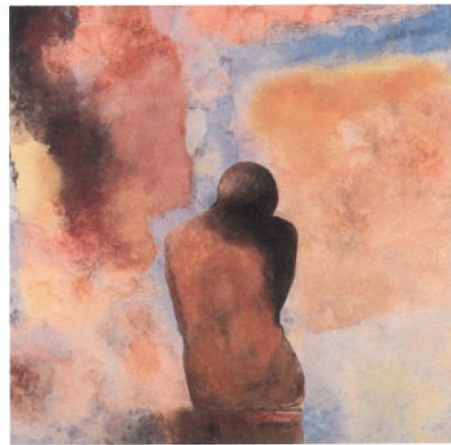
受付期間 2021年10月22日(金)~11月22日(月)

後援：文化財保存修復学会、国宝修理装演師連盟

The future of  
painting



《春爛漫》田淵俊夫(2021)



《雲》土屋禮一(1995)岐阜県美術館蔵

膠2021 オンライン公開研究会

# 膠 絵画の これから

膠による絵画技法を継承する日本画分野で新たな表現を開拓されてきた田淵俊夫、土屋禮一両氏をお迎えして絵画のこれまでと今後を語っていただきます。併せて、現代の日本画における膠の利用状況調査と膠研究の現在について発表を行います。

プログラム

2021年11月27日(土) 13:30~16:25 ※事前登録制

開会挨拶：北田 克己 日本美術院同人 13:30~13:40

## 1. 発表「〈報告〉日本画における膠の現在—日本画家への材料技法アンケートから—」13:40~14:05

荒井 経 東京藝術大学教授

東京藝術大学保存修復日本画研究室が国宝修理装演師連盟からの受託研究として2020年度に実施した日本画家への材料技法アンケートについて報告する。膠や紙の供給が大きく変化した近況を統計的に示すことで、今後の表現や修復に資することを期待している。

## 2. 対談「絵画のこれから」14:15~15:00

田淵 俊夫 日本美術院理事長 東京藝術大学名誉教授

土屋 禮一 日展副理事長 金沢美術工芸大学名誉教授

モデレーター 北田 克己 日本美術院同人

今も膠は供給の面で大きな変化の中にあるが、古来から伝わる膠を用いた絵画技法は、明治、戦後と大きな変革期を経ても現代日本画に受け継がれてきた。戦後の新世代として日本画を牽引してきた田淵俊夫氏、土屋禮一氏を迎え、経験を踏まえて伝えたいこと、そして今後の絵画について聞く。



### 田淵 俊夫

1941東京生まれ 1985東京藝術大学助教授に就任、日本美術院同人となる。1995東京藝術大学教授、2005副学長となる。永平寺、智積院などの襖絵を揮毫、2017薬師寺食堂に壁画を奉納。文化功労者、日本美術院理事長、東京藝術大学名誉教授。



### 土屋 禮一

1946岐阜県生まれ 1967武蔵野美術大学卒業 1988日展評議員となる。1996金沢美術工芸大学教授に就任。1998瑞龍寺本堂障壁画揮毫。2007日本藝術院賞受賞。日展副理事長、武蔵野美術大学客員教授、金沢美術工芸大学名誉教授。

## 3. 発表「膠の概要と関連資料等について」15:10~15:35

宇高 健太郎 東京文化財研究所客員研究員

この十余年で膠の体系化が大きく進んだ。まだまだ課題の多く残る複雑な材料ながら、各研究教育者や使用者諸氏の尽力により前進してきた。本講演では膠に関し概説するとともに、近年刊行した資料等について紹介する。

## 4. 質疑応答 15:45~16:15

閉会挨拶：齋藤 典彦 東京藝術大学教授 16:15~16:25

\*プログラムは変更となる場合があります。

<問い合わせ先> 問い合わせはメールでお願いいたします。

膠2021事務局 メール:nikawalabs@gmail.com 電話:050-5525-2135(齋藤)

膠文化研究会公式サイト <http://nikawalabs.com/index/>

膠研facebook <http://www.facebook.com/NikawaLabs>

※本件はJSPS科研費19H01223の助成を受けたものです。